

Pick up!

輝く男性の家事・子育て体験記

私の育児参加 ～子どもの育ちのために自分ができることをする～

公務員 K. M

《うちの子どもたち》

私には3人の息子がいます。長男が7歳、二男が5歳、三男が1歳です。

息子達は皆、「おかあさん（私の妻）」が大好きです。

「おかあさん」は保育士として働いているため、しばしば土曜日に出勤することがあります。そういう日は男だけで遊び、男が作った食事を、男だけで食べます。私も息子達もそれぞれに好きなことをして、それなりに楽しく過ごしてはいますが、「おかあさん」が帰ってくると、息子達は歓声を上げながら駆け足で玄関に向かいます（三男は高速はいはいで向かいます）。そして、各々がその日にあったことを嬉しそうに報告するのです（三男はまだ何を言っているのか分かりませんが）。夜も「おかあさん」の取り合いです。息子達は誰もが「おかあさん」に歯磨きをして欲しいんです。「おかあさん」に絵本を読んで欲しいんです。「おかあさん」の隣りで寝たいんです。「おかあさん」は息子達の間で身体を細長くして眠っていますが、不人気な私は毎晩手足を伸ばして眠ることができます。



このように人気者の「おかあさん」ですが、さすがに三人に四六時中付きまといわされてはくたびれてしまいます。「おかあさん」も人間です。余裕が無くなれば息子達に優しく振舞えないこともあります。いやはや、「おかあさん」は本当に大変なんです。

《大切なのは母親の代わりをすることではありません》

子どもが生まれた時から、親は子どものことを一番に考えて生きていかなければなりません。私の息子達にとって、今一番大切なことは、元気で優しい「おかあさん」が近くにいることです。そのために父親の私ができることは「おかあさん」の余裕を増やすことです。人が元気で優しくいるためには余裕が必要です。だから私は土日の食事を作ります。息子達を風呂に入れます。三男のおむつを替えます。二男の遊び相手をします。長男の叱り役を務めます。「おかあさん」の愚痴を聞きます。「おかあさん」にお茶を入れます。自

分にできることをするだけです。

父親の育児参加において最も大切なのは、母親の代わりをすることではありません。子どもが健やかに成長していくための環境を確保するために、あくまで父親としてすべきことを日々していくことが大切だと考えます。これからも妻や息子達と触れ合う時間を大切に、今の家族にとって何が一番大切なのかを見極めながら生活していきたいです。



そして、家族により多くの時間を使うためには、いつまでも職場に残っているわけにはいきません。職場での仕事のやり方を改善して、大切な家での仕事をないがしろにしないように努めていきます。

ただ、自分でできる改善にも限りがあります。職場の仲間の協力やその他周囲の人達の理解がなければ、早い時間に家路につくことはできません。だから、誰もが今以上に子どものために時間を使える職場、地域、社会を実現するため、自分にできることを探して積極的に取り組んでいきたいと考えています。

